

# イニシャル LiSiプレスによる 審美的な補綴修復

東京都 原宿デンタルオフィス  
歯科医師  
山崎長郎



## はじめに

審美的な補綴修復治療のためのマテリアルとして、さまざまな種類の製品がラインナップされる時代となった。その分、個々の治療に対してどのマテリアルを選択するのかが重要になってきている。審美補綴で使用するマテリアルは大きく分けてCAD/CAMでミリングするものとプレス系のものに分けることができる。より強度を必要とする場合はジルコニア、透過性を活か

してより審美的な修復を行いたい場合には二ケイ酸リチウムのプレスセラミックスが適している。特にプレスセラミックスは周囲が漂白された歯列に対して補綴修復物を入れる場合や漂白したようなかなり白い歯を望む患者さんには非常に有効だと考える。操作性に関しては技工作業が簡便で、マージン部の修正が少ないという利点もある。しかし従来のマテリアルでは耐酸性が

低く、2~3年経過するとツヤを失い、写真が撮れないくらい表面が荒れていることもあった。ジーシーから国産初ということで発売になった二ケイ酸リチウムの「イニシャル LiSiプレス」は強度や耐酸性を大幅にアップしており、安心して審美修復に使用できるものとなった。今後の審美補綴修復の一角を占めるのではないだろうか。



AGE ; 27Y (F)  
F.V. ; 2016Y

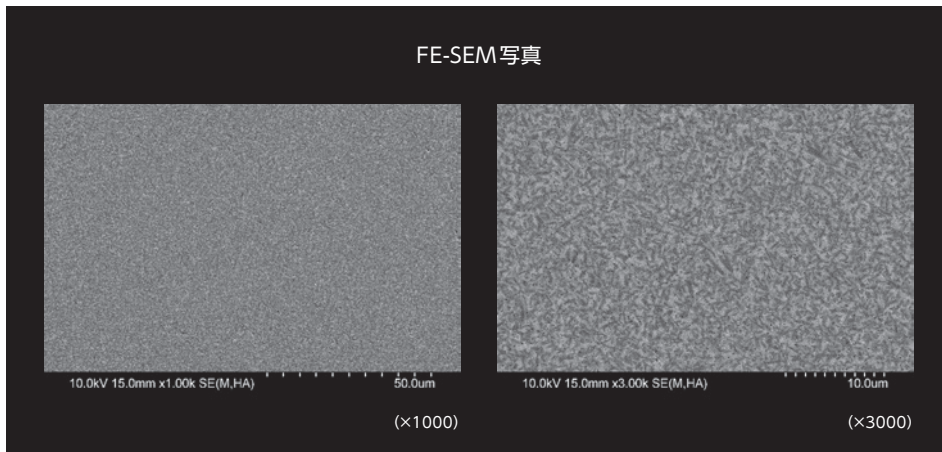
1-1 初診の状況。黄色っぽく見える歯の色が気になり、もう少し白いものはないかということで来院。ブリーチングをすすめたが、漂白は何回やっても戻ってしまう。できれば恒久的なものを何か入れて欲しいとのことであった。



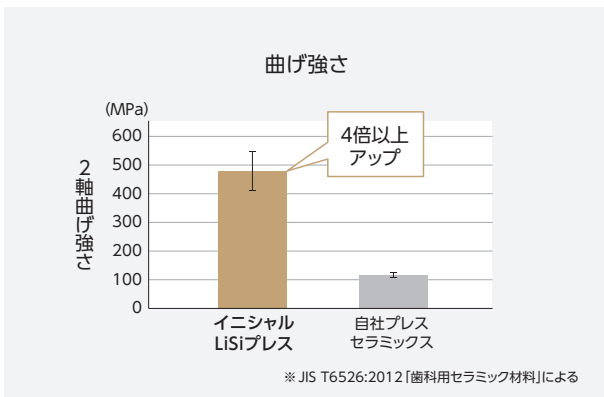
1-2 口腔内の所見。白歯部においてはいくつかのクラウンやインレーはあるものの大きな問題はない。2|の側切歯が少し交叉咬合になっているということと、3|が当たっていないということがあげられる。反対側に関しては、これも、I級関係に近い状態であるが、しっかりとしたバイトがない。



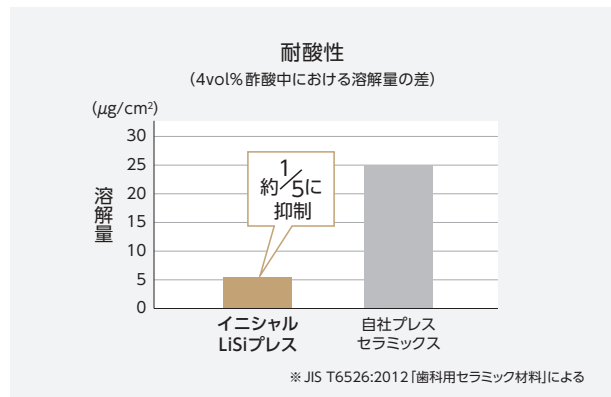
1-3 最初のステップでブリーチングを施す。私のオフィスでは基本的にオフィスブリーチを行っている。上下顎ともきれいに漂白が行われ、2ランクアップした。顔貌から推察してもかなり漂白されていることがお分かりいただけると思う。



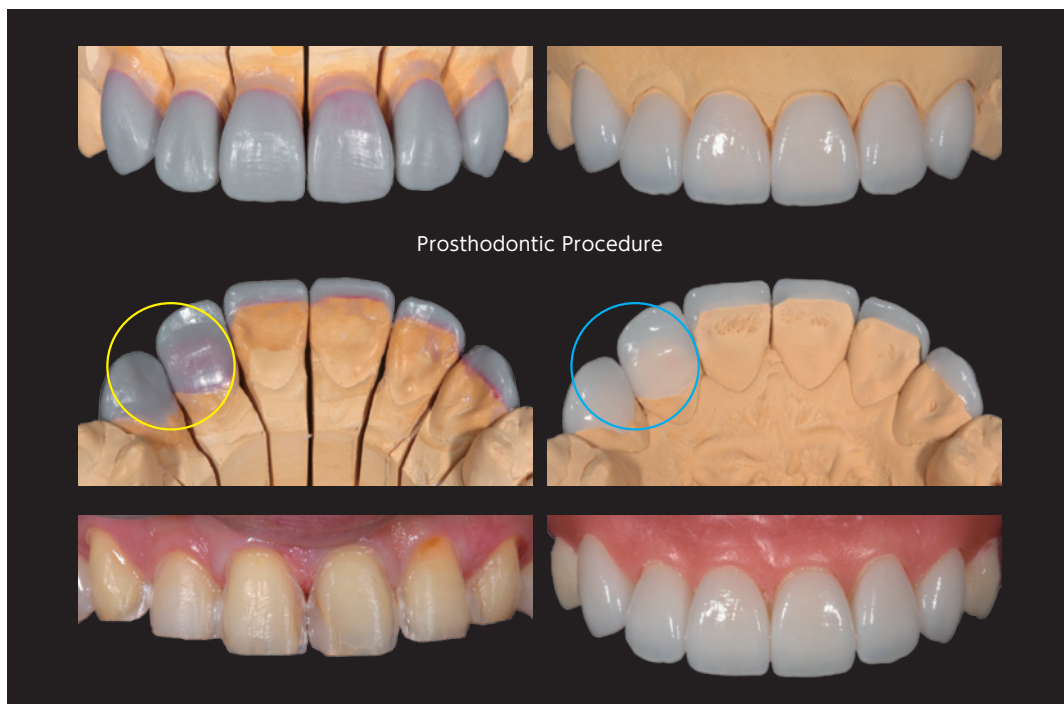
1-4 イニシャル LiSi プレスのSEM像。微細化された結晶が高密度に配置されているのがわかる。これらのことにより、高強度と光の透過性をコントロールすることが可能であるということが推察される。



1-5 曲げ強さのグラフ。ニケイ酸リチウムは、ジルコニアと比較して強度は落ちるが、イニシャル LiSi プレスは、現在発売されているニケイ酸リチウム中では一番強度がある。



1-6 耐酸性のグラフ。低い酸溶解量は、表面性状などの長期安定性におおいに期待が持てる。臨床的にはここが一番安心できるポイントとなった。



1-7 支台歯形成。通常の180°ベニアと、360°のベニアという非常に特徴的な支台歯形成を行った。360°ベニアは舌側までセラミックでカバーするが、これもイニシャル LiSi プレスの強度があるからこそできる1つの方策だと思う。色調は透明性の高いHT-BLEを選択した。



1-8 口腔内への装着。上下との色調バランスがとれている。



1-9 咬合状態の調整（前方運動時）。



1-10 上顎6前歯にクローズアップしてみると、色調がうまく表現されているのがわかる。



1-11 顔貌との比較、口唇との比較。初診時と比較し非常にきれいな歯を恒久的に得ることができた。



1-12 術前・術中（プロビジョナル装着時）・術後。  
 術前と術後を比較すると審美的に大きな変化が表れている。  
 下顎については次回メンテナンス時にオフィスブリーチングを予定している。

## おわりに

今後、ますます審美治療に対する材料およびシステムは進歩していく。その中において口腔内に長く存在し続ける材料、そしてその審美性がそれほど複雑な過程・操作を経なくても再現さ

れるようなマテリアルのシステムが重要になり、多くの歯科医師が重宝することになるであろう。イニシャル LiSi プレスは前述の様々な要件を備えているため、多くの歯科医師が使用する

ことになるであろうが、私の切なる希望はマルチ・レイヤーのデザインを何とか工夫していただければと思う。



**山崎長郎**（やまざき まさお）  
 東京都 原宿デンタルオフィス 院長 歯科医師  
 略歴・所属団体©1970年 東京歯科大学 卒業。1974年 原宿デンタルオフィス 開業  
 東京 SJCD 最高顧問/SJCD インターナショナル会長